

工場長養成塾を事業化

豊田織機
などと

中小の中核人材育成

【名古屋】名古屋工業

大学は、豊田自動織機やデンソー技研センター（愛知県安城市）と共同で、中小企業の工場長クラスの人材を育成する「工場長養成塾」を事業化する。後継者不足が深刻化している中小企業の中核的な人材を育て、地域貢献の一環とする。

ら、指導する。受講生となる中小企業の幹部候補者24人を募集。開催時期は9月―08年3月の延べ

23日間、カリキュラムは全体で153時間。受講料50万円。申し込み締め切りは7月12日。

同養成塾は05―06年度に経済産業省の「産学連携製造中核人材育成事業」として開催。今回それを事業化、本格展開する。カリキュラムは製造現場での実践を重視。受講生の企業の工場を持ち回りで教室とし、現場で抱える課題を解決しながら